八潮中央総合病院 院外広報誌
ふれあい
開院40周年記念 特集号
平成25年4月1日
発行：医療法人社団協友会　八潮中央総合病院
編集：広報委員会　〒340-0808 埼玉県八潮市緑町1丁目41-3 TEL048-996-1131

2015年 八潮中央総合病院は生まれ変わります。

新病院 年内着工予定

新病院完成予想図

八潮中央総合病院の新築移転につきましては、年内に着工できるよう、現在準備を進めております。新病院の位置は、八潮駅から東に徒歩10分圏内の、八潮南部東土地区画整理地内となっております。

完成までには、およそ20ヶ月の工期を予定しており、平成27年夏から秋の完成を目指しています。完成後は病室のベッド１床あたり８㎡となり、介護老人保健施設と同等の広さの快適な療養環境となります。また、手術室拡充を始めとする急性期医療の充実、そして別棟だった当院付属の総合健診センター「みどり診療所」を院内に含んで健診部門との連携を強化しながら、より地域の中核病院としての使命をまっとうできるよう計画しております。

開院40周年を迎えて

さらに地域医療に貢献を

八潮中央総合病院院長 真田 毅

八潮中央総合病院は、八潮市が市制施行した翌年の昭和48年4月1日に八潮中央病院として開設され、このほど開院40周年を迎えることができました。上尾中央医科グループ2番目の病院として、当初は病床数80床のスタートでしたが、現在は302床の総合病院として成長してまいりました。

これまで八潮中央総合病院の礎を築かれた諸先輩方に改めて敬意を表すとともに、現在この病院を支えているスタッフ、そして地域の皆様に心から感謝の意を表します。

私は、平成8年に外科医として当院に入職し、副院長を経て平成13年7月から院長を務めさせていただいておりますが、当院の理念である「地域から信頼される病院」をめざして、医療の充実はもちろんのこと安定した経営も実現するべく、職員ともども努力しているところであります。

地理的にも八潮市のほぼ中央に開院した当院は、八潮市の発展とともに成長を続けてきており、それとともに増築・増床を進めてまいりました。しかしながら、40年間の歳月により病院本体の老朽化は避けることができず、地域の皆様に安心・安全な医療を提供し続けるために、八潮駅近くへの新築移転を計画しているところであります。具体的な設計内容については、現在各担当が検討を重ねているところでありますが、年内の着工、平成27年中の開院を目指しているところでございます。今後ますます地域からのニーズは増え続けることと思いますが、開院以来の基本方針をしっかりとふまえつつ、さらに地域から信頼される病院をめざして地域医療に貢献してまいりたいと思っております。

今後とも引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

目　次

新病院完成予想図・概要 …… 表紙
幹部職員集合写真・院長あいさつ …… 2
祝　辞　中村秀夫会長、中村康彦副会長 …… 3
記念対談　多田重美八潮市長・真田 毅院長 …… 4～7
40年のあゆみ …… 8～11
回顧録　清水元副院長、山口元事務長 …… 12
歴代三役 …… 13
資料編 …… 14～15
編集後記
送迎バスの案内
病院理念・基本方針 …… 16

祝　辞

八潮中央総合病院 と共に歩んだ４０年

上尾中央医科グループ
会長　中村 秀夫

かねてからの念願でありました 分院第一号として、１９７３年４月１日 八潮中央総合病院は 病床数８０床にて開設致しました。初代院長には 金沢大学医学部卒で当時 上尾中央総合病院 にて 外科部長 兼 副院長 を勤めていた 江里口 敏雄（故）医師 を指名致しました。彼は昼夜 問わず よく働き、人当たりも良く 温厚で、任せるなら 彼しかいない という気持ちで 送り出した事を思い出します。

その後「地域から信頼される病院」の理念を実行すべく 増改築工事、増床 等 を行いながら 地域医療に貢献し歴代院長には １９９３年１１月２２日 ２代目 小関院長就任、１９９９年９月１７日 ３代目 山内院長 就任 とバトンを繋ぎ 現在は ２００１年７月１日 ４代目として就任した 真田 毅 院長が 運営を担っております。彼は 私が 当時の小杉事務長を引き連れ 秋田大学へ赴き 院長職へ招聘したのです。真田 毅 院長は ２４時間救急体制の実施 と すべての人が平等に 医療サービスを安心して 心地よく受けていただける病院作り に尽力され 現在の八潮中央総合病院へと発展させてきました。

この４０周年を機会に 平成２５年１１月には 新病院の建築が着工となります。１床あたり８㎡の療養環境と、手術室をはじめとする急性期医療の充実、健診センターの独立化 等 次世代へ向けて 計画が進んでおります。

これからも 八潮中央総合病院と共に歩んだ４０年の誇りを胸に、患者様・利用者様 に 奉仕する気持ちを忘れず 地域医療貢献 に邁進して参りましょう。

この度は 誠に おめでとうございます。

上尾とＡＭＧを牽引してきた八潮中央総合病院の４０年と これからの未来に向けて

上尾中央医科グループ
副会長　中村 康彦

この度は 開設４０周年 誠に おめでとうございます。

現在 ２７病院・２０老人保健施設をはじめ その他多くの施設を有する 上尾中央医科グループの記念すべき分院第一号として １９７３年４月１日 八潮中央総合病院はオープン致しました。これは 中村 秀夫 会長と当時のグループ職員方々の念願でもあり その喜びは ひとしお であったと聞いております。

当時は 現在の様に 機能別の病院、特定の診療科に特化した病院 という概念が民間病院の中では少なく 初代院長である 江里口 敏雄（故）院長のもと、総合的な面で 地域に求められる病院、地域に信頼される病院 を目指し その運営がスタート致しました。現在の八潮中央総合病院に至るまでは 増改築工事や増床を行う中で 産婦人科病棟、救急指定、眼科、脳神経外科、人工透析科 特例許可老人病棟 等々 地域のニーズを いち早く、敏感に察知し その病院形態を進化させながら 現在 ４代目である 真田 毅 院長へ 受け継がれております。

開設から引き継がれてきた「地域から信頼される病院」の理念を継続すべく ４０周年の区切りに 平成２５年１１月には 新病院 建築工事着工が予定されており 更に地域の中核病院としての使命を全う出来る様 計画が進んでおります。

分院のリーダー格として 上尾と共に グループを牽引してきた４０年の功績に敬意を表し これからも未来へ向かって 共に歩んで行くことを八潮中央総合病院 職員の皆様に期待しています。これからも よろしくお願い致します。

記念対談

八潮市長　多田 重美氏
八潮中央総合病院院長　真田　毅

八潮中央総合病院は八潮市の発展とともに

院長：お忙しい中、私との対談のためにお時間を割いていただいてありがとうございます。今日はよろしくお願いいたします。

市長：こちらこそよろしくお願いします。

院長：八潮市のトップとして、いろいろと心身ともにご苦労が多いことと思います。

市長：そうですね。規則正しい生活が大事だとわかっているのですが、なかなか休みがとれなかったり、時期によってお酒を交えた懇談会の席が多かったりします。だからこそ健康には気をつけています。そして、毎朝8時過ぎには頭も身体もフル稼働できるよう、前の晩から体調を整えるよう心がけています。

院長：お忙しいので、大変ですよね。私もトップに立つ者としてよく分かります。

市長：院長もお忙しいことと思いますし、ストレスも溜まるでしょうね。私は、健康づくりカレンダー（※）を毎日めくりながら健康に気をつけています。院長にも1冊差し上げます。

院長：ありがとうございます。早速拝見します。（カレンダーをめくりながら）、これは、健康を維持するために当然やっておくべきことが書かれていますね。当たり前のことがなかなか実行できないご時世ですから、毎日健康づくりの意識を新たにするために、この日めくりのカレンダーはいいですね。

市長：お互いに健康には気をつけましょう。

※「健康づくりカレンダー」

八潮市が平成21年2月に「健康スポーツ都市宣言」を行った際に、八潮市健康づくり行動計画を参考に作成したカレンダーで、市内全戸配布した。健康に関する行動目標が日めくりで記載されている。

開院当時の思い出

院長：ところで当院はおかげさまで40周年を迎えることができました。これも八潮市の皆様のおかげと感謝いたしております。

市長：市内唯一の総合病院として本市の医療体制充実と市民の健康保持のため日頃からお世話になっています。院長とは今までも会合などで何度もお会いしていますが、院長が大学時代を秋田で過ごされて、私は岩手県出身と、同じ東北にゆかりのある者同士としてとても親しみを感じています。

院長：そうですね。一昨年3月の東日本大震災では、福島・宮城・岩手などの被害が大きくて心が痛みます。私も医療従事者として、透析などをされている多くの被災患者の受け入れを行いましたが、多田市長もいち早く支援の手を伸ばされたと聞きました。

市長：出来る限りのことをやろうと決め、草加・越谷・三郷など周辺の市長にも声をかけて真っ先に支援物資を届けました。その後私も現地に行きましたが、想像を絶する光景でしたね。本格的な復旧にはまだ時間が必要ですが、多くの方の善意と地元のがんばりで持ち直してきたように思います。

院長：大震災を機に、災害に対する日ごろの備えと、地域の「絆」の大切さを改めて感じました。ところで、八潮市も昨年40周年を迎えましたね。

被災地への支援物資の仕分け（文化スポーツセンター）

市制40周年記念式典・平和都市宣言（八潮メセナ）

市長：はい、昨年八潮市も市制施行して40周年となり、1月に記念式典を挙行したところです。式典に合わせて平和都市宣言も行いました。八潮市の市制施行は昭和47年1月でしたが、中央病院はその翌年の昭和48年に開院されたのですね。

院長：そうなんです。その頃私は学生でしたので、当時の病院のことはわからないのですが、当院が属する上尾中央医科グループの中でも2番目に開院した病院です。

市長：私が今住んでいる八潮団地もできたばかりで、都内から人や工場がたくさん流入して八潮市がめまぐるしく変化していった時期ですね。

院長：現在の当院は、中央部分・東側部分・西側部分と年数を追って3期に分けて建設されておりまして、開院当時はその初めの部分として現在正面入り口のある病棟として、病床数が80床の規模でスタートしました。

市長：当時の八潮市の人口は43,000人あまり、世帯数が11,000世帯あまりで、急増する人口に対応して小中学校の施設整備が追いつかず、年間予算の三分の一を教育費に充てて毎年、校舎・プール・体育館など教育関連施設の整備を行っていました。

院長：そういう時代だったのですね。

市民病院的に貢献し、市民の健康を応援します

40 年間の移り変わり

院長：40 年間で 2 回の増築を経て現在の病院の規模となったわけですが、当院としてはいろいろと変化を遂げてきました。
昭和 53 年には救急告示病院となり、平成元年には脳神経外科を標榜、人工透析室を開設、「八潮中央総合病院」に名称変更、平成 8 年には管理棟完成、麻酔科標榜、平成 9 年には「みどり診療所」開設、平成 11 年には「八潮中央訪問看護ステーション」開設、平成 14 年には呼吸器外科・心臓血管外科を標榜、平成 16 年には放射線科標榜、平成 17 年に病院機能評価認定、平成 19 年に MRI 導入、平成 23 年にマルチスライス CT64 列稼動開始、などなど 40 年の歳月は、八潮市の発展と共に歩んできました。

市長：市民の健康を守るためにいろいろと発展を遂げてきた様子がわかります。

40 年間の主なできごと

年　月	主なできごと
昭和53年　8月	救急告示病院
平成 元年　2月	脳神経外科標榜
〃　　〃	人工透析室開設
〃　　6月	「八潮中央総合病院」に名称変更
平成　8年　1月	管理棟完成
〃　　3月	麻酔科標榜
平成　9年　9月	「みどり診療所」開設
平成11年10月	「八潮中央訪問看護ステーション」開設
平成14年　1月	呼吸器外科・心臓血管外科標榜
平成16年　8月	放射線科標榜
平成17年　9月	病院機能評価認定
平成19年　2月	MRI 導入、稼動開始
平成23年　7月	マルチスライス CT64 列　稼動開始

「40年のあゆみ」の詳細は、8〜11ページをご覧ください。

現在の病院

みどり診療所

院長：多田市長と私はちょうど同じ時期に就任したのですね。市長は平成 13 年 9 月に就任されて、今年で 12 年。私も同じ平成 13 年の 7 月から院長を務めて、やはり 12 年になります。お互いに自分の健康に気をつけながら、いい仕事をしたいですね。

市長：市長の仕事は、400 メートルリレーの走者のようなものだと思っています。100 メートルしっかり走って、しっかりバトンを渡す・・・、そんな仕事だと思います。さきほどお酒の席が多くて大変、と言いましたが、そういう会でもしっかり市民の声に耳を傾けていると、思わぬ情報も入ってきます。市長として自分が思ったことを実現するのは簡単なことではありませんが、思っ

たとおりに実現したときに、なんともいえない達成感・充実感がありますね。

院長：私の場合は人の命を預かる仕事をしていますから、緊張の連続で疲労感が極度に増していくことがよくあります。でも手術を終えて患者さんが元気で退院していく姿を目の当たりにすると、なんともいえない達成感があり、これは手術医にしか分からないことかと思います。この「やりがい」が、病院の仕事に対する私のエネルギーを前向きにし続けています。

これからの地域医療について

市長：病院の新築移転はどのような状況になっていますか。

院長：40 年間の歳月により病院本体が老朽化しているため、地域の皆様に安心・安全な医療を提供し続けるために、八潮駅近く、徒歩 10 分くらいのところに新築移転を計画しているところです。具体的な設計内容については、現在各担当が検討を重ねているところですが、年内の着工、平成 27 年中の開院を目指しているところです。

（新病院の概要については、表紙をご覧ください。）

市長：楽しみですね。八潮中央総合病院は、八潮の医療の中心として、これからも市民の健康づくりに役割を果たしていただければと期待しています。

院長：八潮市には公立病院がありませんので、当院が市民病院的に貢献し、市民の健康づくりを応援していきたいと思っています。

40 周年はひとつの節目ですが、当院の理念である「地域から信頼される病院」をめざして、今後も八潮市と力を合わせて、地域の医療機関と連携を図りながら、よりよい病院にしていきたいと思います。

本日はありがとうございました。

Profile

多田　重美

（ただ・しげみ）

八潮市長、63 歳

岩手県遠野市出身。平成元年から八潮市議会議員をつとめる。平成 13 年 9 月に八潮市長に初当選し、「品格と活力のある八潮」をめざして現在 3 期目。

真田　毅

（さなだ・たけし）

八潮中央総合病院院長、57歳

神戸市出身。秋田大学医学部を卒業し、平成 8 年に外科医として当院に入職。副院長を経て平成 13 年 7 月から院長をつとめる。専門は一般外科・胸部外科。

40年のあゆみ　昭和48年〜平成5年

昭和48年 開院式神式行事

昭和54年 AMG運動会（八潮中学校校庭）

昭和55年 AMG学会

当院のあゆみ

昭和48年
■八潮中央病院開設（1973年4月1日）
・病床数80床
・初代院長として江里口敏雄院長が就任

昭和48年 開院日にAMG中村会長が記念撮影

51年
■産婦人科病棟改築完成（1976年2月20日）
・病床数80床
■第2期増築工事完成（12月23日）

52年
■成人病棟開設に伴い増床（1977年1月20日）
・病床数134床

53年
■医療法人社団中央米寿会に組織変更（1978年7月1日）
■救急告示病院（8月29日）

54年
■看護学生「あすなろ寮」完成（1979年3月5日）

55年
■木造病棟改築により増床（1980年7月29日）
・病床数140床

56年
■医療法人社団協友会に組織変更（1981年12月2日）

57年
■新棟増築工事着工（1982年7月23日）

八潮市の動き

昭和48年
・県立八潮高校開校
・3代目市長 鈴木泰治氏就任

50年
・第七（八條北）小学校開校

52年
・老人福祉センター「寿楽荘」オープン
・第八（大瀬）小学校、第三（八條）中学校開校

53年
・第九（大原）小学校、第四（八幡）中学校開校
・「文化スポーツセンター」オープン

54年
・第十（柳之宮）小学校開校

55年
・「保健センター」オープン
・第五（潮止）中学校開校

56年
・「コミュニティセンター」オープン
・中川に新共和橋開通

57年
・福祉作業所「やまびこ」オープン

昭和47年 市役所周辺

昭和47年 市制施行記念式典

その他の動き

昭和48年
・石油危機
・巨人V9達成

49年
・田中金脈問題
・長嶋茂雄引退

50年
・ベトナム戦争終結

51年
・日本初の五つ子誕生

52年
・王貞治756号本塁打達成

53年
・日中平和友好条約調印
・成田空港開港

54年
・日本坂トンネル事故

55年
・1億円拾得事件

56年
・死因のトップ脳卒中からガンへ

57年
・日航機羽田沖墜落事故

昭和60年 AMG運動会（八潮中学校校庭）

平成元年 増築竣工式

平成5年 20周年式典 江里口院長あいさつ

昭和59年 当院周辺（写真提供：スワショップ）

昭和58年 市制10周年記念パレード

平成3年 生涯学習都市宣言

58年

■江里口理事長就任（1983年1月10日）
■増床（2月2日）
・病床数241床
■眼科開設（5月1日）
■新棟増築工事完了（6月25日）

・市制施行10周年記念式典開催
・「八幡図書館・八幡公民館」オープン

・三宅島大噴火
・ドラマ「おしん」ブーム

59年

・県立八潮南高校開校
・「ゆまにて」オープン

・グリコ 森永事件

60年

■増床（1985年7月26日）
・病床数245床

・首都高速6号三郷線開通
・老人福祉センター「すえひろ荘」オープン

・日航ジャンボ機墜落
・筑波科学万博開催

61年

・ダイアナフィーバー

62年

・国鉄民営化

63年

■増築工事着工（1988年2月20日）

・人口7万人突破

・青函トンネル開通
・リクルート事件

平成

元年

■増築工事完成（病床数262床）（1989年1月25日）
■脳神経外科標榜（2月10日）
■人工透析室開設（2月20日）
■増床（病床数275床）（3月20日）
■八潮中央総合病院に名称変更（6月1日）

・4代目市長 藤波彰氏就任
・「資料館」オープン

・昭和天皇崩御
・天安門事件
・ベルリンの壁崩壊

2年

・「八潮メセナ」オープン

3年

・「生涯学習都市宣言」
・第1回市民まつり開催

・バブル崩壊
・雲仙普賢岳火砕流発生
・湾岸戦争勃発

4年

・市制施行20周年記念式典開催

・東京佐川急便事件

5年

■開院20周年記念式典開催（1993年4月3日）
■2代目院長として小関和士院長就任（11月22日）
■相澤理事長就任（11月24日）

・市のシンボルマークを定める

・皇太子殿下 雅子妃ご成婚

40年のあゆみ　平成６年～平成25年

管理棟

みどり診療所

平成15年 臨床研修病院指定

当院のあゆみ

平成6年

平成7年
■増築工事着工（管理棟含む）（10月20日）

平成8年
■管理棟完成（1996年1月20日）
■麻酔科標榜（3月21日）
■増築工事完成（5月23日）
・病床数306床（一般186床・老人120床）

平成9年
■「みどり診療所」オープン（1997年9月13日）

平成10年
■区画整理に伴う町名地番変更
（緑町1－41－3）（1998年11月21日）

平成11年
■3代目院長として山内篤院長就任（1999年9月17日）
■八潮中央訪問看護ステーション指定（開設）（10月1日）
■指定居宅介護支援事業所指定（許可）（11月1日）

平成12年

平成13年
■院外処方箋開始（2001年6月1日）
■4代目院長として真田毅院長就任（7月1日）
■増改築工事着工（8月1日）

平成14年
■呼吸器外科・心臓血管外科標榜（2002年1月4日）
■増改築工事完成
病床数339床（一般204床・療養135床）（8月31日）

平成15年
■厚生労働省より「臨床研修病院」として指定（2003年11月19日）

八潮市の動き

平成6年
・「生涯学習まちづくり出前講座」スタート

平成7年
・「やしお生涯楽習館」「リサイクルプラザ」オープン

平成8年
・市制施行25周年記念事業「八の字サミット」開催

平成9年
・「中川やしおフラワーパーク」開園

平成10年
・高齢者福祉施設「やしお苑」オープン

平成11年

平成12年
・「八條公民館・八條図書館」オープン

平成13年
・5代目市長 多田重美氏就任
・「エイトアリーナ」オープン

平成14年
・市制施行30周年記念式典開催
・ケアセンター八潮開設

平成15年
・やしお市民大学開校
・だいばら児童館「わんぱる」オープン

平成15年 市制施行30周年記念式典

その他の動き

平成6年
・関西国際空港開港
・松本サリン事件

平成7年
・阪神・淡路大震災発生
・地下鉄サリン事件

平成8年
・O－157大流行
・住専問題

平成9年
・臓器移植法成立
・山一証券破綻

平成10年
・長野冬期五輪開催

平成11年
・ユーロ導入
・マカオが中国に返還

平成12年
・介護保険制度スタート

平成13年
・家電リサイクル法施行
・米同時多発テロ勃発

平成14年
・ユーロ流通開始
・日韓サッカーW杯開催

平成15年
・新型肺炎（SARS）流行

平成17年 病院機能評価認定

保育室

病院外観

平成

16年

■病床数変更327床（一般192床・療養135床）（2004年5月1日）
■放射線科標榜（8月1日）

・浮花橋開通
・埼玉国体開催

・鳥インフルエンザ流行
・新潟中越地震発生

17年

■病院機能評価受審（2005年6月16日）
■病院機能評価認定（9月26日）

・つくばエクスプレス八潮駅開業
・和井田家住宅、国の重要指定文化財に指定

・愛知万博開催
・JR福知山線脱線事故
・耐震偽装問題発覚

18年

■病床数の変更 304床（一般186床 障害118床）（2006年11月1日）

・八潮市小中一貫教育特区が内閣府から認定

・がん対策基本法成立

19年

■MRI導入 稼動開始
・診療科目変更 産婦人科↓婦人科（産科の廃止）（2007年2月1日）
■新保育所完成 引越（3月10日）
■病床数の変更 302床（一般184床 障害118床）
■透析室の拡張 20床から24床へ（7月1日）
■病院大規模修繕工事（外壁全塗装・屋上防水工事等）開始（7月9日）
■病院大規模修繕工事（外壁全塗装・屋上防水工事等）終了（10月10日）

・八潮駅前に市役所駅前出張所等がオープン
・市民大学大学院開校
・「健康づくり行動計画」策定

・10代患者でタミフル異常行動問題

20年

■訪問看護ステーション 八潮市緑町1-24-7へ移転（2008年12月6日）

・人口8万人突破

・岩手・宮城内陸地震発生
・米大統領にオバマ氏

21年

■理事長 中村秀夫より中村康彦へ変更（協友会）（2009年1月1日）
■DPCの導入（4月1日）

・健康スポーツ都市宣言
・新消防庁舎落成
・八潮駅南口オープン

・新型インフルエンザ国内発生

22年

■病院機能評価（Ver6）更新受審（2010年7月21日）
■病院機能評価認定（9月26日）

・新中川橋開通

・奈良平城遷都1300年
・上海で万国博

23年

■臨床研修指定病院 基幹型から協力型へ変更（2011年4月1日）
■マルチスライスCT64列 稼動開始（7月8日）
■PACS 稼動開始（9月1日）

・障害者福祉施設「やまびこ」オープン

・東日本大震災発生

24年

・市制施行40周年記念式典開催

・東京スカイツリー竣工

25年

■開院40周年（2013年4月1日）

平成17年 つくばエクスプレス八潮駅開業記念式典

回顧録

八潮中央総合病院での思い出

元副院長
清水内科クリニック院長
清水　旭

開院20周年記念式典

開院40周年そしてますますの発展を心からお祝いいたします。

僕は昭和63年9月から、最初は江里口院長先生のもとで、また江里口先生がお亡くなりになった後は小関院長先生のもとで副院長として内科全般をみさせていただきました。ある日曜日の朝に、江里口先生からどうも胃の調子が悪いと電話があり、翌日、内視鏡で病変を見たときには本当にびっくりしました。

また当時は医者の数も少なくこじんまりした医局でしたので、夕方5時前後になると魚とかを買ってきて焼いたりして、みんなで食事をしたのも楽しい思い出です。

またスタッフの皆さんと旅行、忘年会、野球大会など思い出いっぱいです。羽目をはずしてご迷惑もたくさんおかけしたこともここでお詫びします。

10年間お世話になったのですが、小関先生はじめ外科の先生方には僕の肺の手術もしてもらいました。おかげさまで開業してから15年たちますが、診療もゴルフも元気にやっています。

終わりになりますが、真田先生はじめ諸先生方、スタッフの皆さんに連携の必要な患者さんをお願いすることが多く本当に感謝しています。今後ともよろしくお願いいたします。

八潮の地に中央総合病院と共に40年

初代事務長
山口　行雄

八潮中央総合病院40周年誠におめでとうございます。

八潮市制1年目を迎え、市長を始め地元の有志から病院誘致を求める人たちの思いが、AMG中村秀夫会長の埼玉県東南部に核となる病院づくりと合致して開院の運びとなり、早くも40周年を迎えることになりました。昭和47年の建築着工に合わせて、素人の私が準備事務長を拝命させていただき大変感謝しております。病床数80床という少人数からの船出となりましたが、江里口敏雄院長を始め全スタッフが協力して、家族的な雰囲気をもった病院づくりができたと確信いたしました。AMG初めての埼玉県東南部のため、頼れる人がいない中で、まずは市内の行事に参加して病院の存在を市民の皆様に知ってもらうことが一番と考え、市民まつりに阿波踊り連をつくり、他の企業や団体に負けないよう市の目抜き通りを練り歩き、八潮中央総合病院の存在を大きくPRした時代でした。

私は、開院と同時に八潮に住み続け40年になり、多くの仲間や知人ができました。それも八潮中央総合病院あってのことと大変感謝しております。AMGの高度な医療で愛し愛される病院を目指し、全職員が一丸となって地域から安心して信頼される八潮中央総合病院をつくっていただくことを切望し、今後ますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

市民まつりの阿波踊り連

歴代三役

年	◆院　長	◆看護部長	◆事務長
昭和48	1 江里口敏雄	1 伊藤美知江	1 山口行雄
49			
50		2 平石清子	
51			
52			
53			
54			2 河野通
55			
56			
57			
58			
59			
60			3 宮坂俊弘
61			
62			
63			4 山口行雄
平成1			
2			
3			
4		3 大山千香子	
5	2 小関和士		
6			
7			
8			5 中山憲一
9		4 川上千英子	6 福田精一
10			
11	3 山内篤		7 小杉喜代志
12		5 下脇ひとみ	
13	4 真田毅		8 真々田俊夫
14			
15			9 小林洋一
16		6 中澤文子	
17			
18			
19			10 高橋敏郎
20		7 種村和行	11 戸張喜由
21			
22			
23		8 島尻美恵	
24			12 河原卓二

資料編　平成24年12月31日現在

病院概要

●病 床 数

302 床（一般 184 床･回復期リハ 60 床･障害 58 床）

●診療科目

・内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・小児科・外科
・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・放射線科・心臓血管外科･皮膚科･泌尿器科･婦人科･眼科･耳鼻咽喉科･形成外科・麻酔科・リハビリテーション科･（人工透析）

●職 員 数

・医師（常勤 24 名・非常勤 46 名）
・薬剤師（常勤 15 名）
・助産師（常勤 1 名・非常勤 1 名）
・看護師（常勤 112 名・非常勤 30 名）
・准看護師（常勤 34 名・非常勤 13 名）
・介護福祉士（常勤 18 名）
・看護助手（常勤 27 名・非常勤 2 名）
・診療放射線技師（常勤 10 名）
・臨床検査技師（常勤 10 名）
・理学療法士（常勤 35 名）
・作業療法士（常勤 21 名）
・言語聴覚士（常勤 6 名）
・臨床工学技士（常勤 8 名）
・視能訓練士（常勤 3 名）
・管理栄養士（常勤 3 名）
・クラーク（非常勤 1 名）
・医師事務補助（常勤 24 名・非常勤 1 名）
・診療情報管理士（常勤３名）
・事務（常勤 46 名・非常勤 6 名）
合計　常勤 400 名・非常勤 100 名

●床 面 積

8383.78㎡

●敷地面積

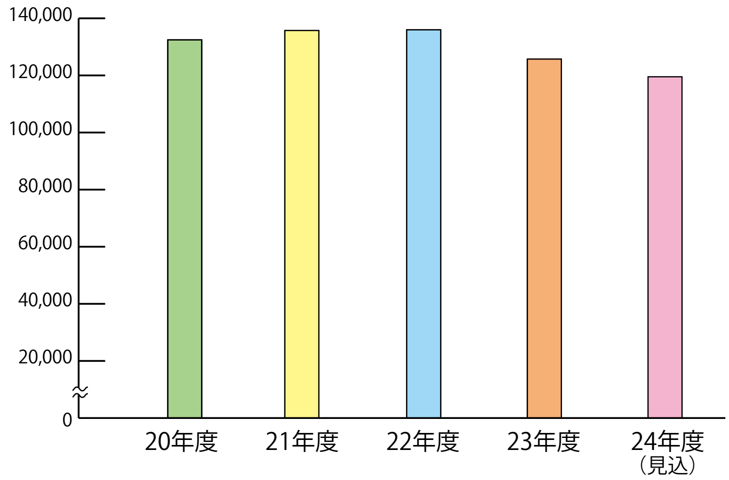
4192.08㎡

●認定施設

・厚生労働省臨床研修指定病院・身体障害者福祉法指定更生医療機関・国民健康保険取扱機関・母子保健法指定養育医療機関・健康保険取扱指定医療機関・日本医療機能評価機構認定病院・労災保険指定医療機関
・日本外科学会外科専門医制度修練施設・生活保護法指定医療機関・日本外科学会認定医修練施設・救急告示病院・日本眼科学会専門医制度研修施設・結核予防法指定医療機関・労災保険二次健診等給付医療機関
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

●付帯施設

・みどり診療所・八潮中央訪問看護ステーション
・あすなろ保育室

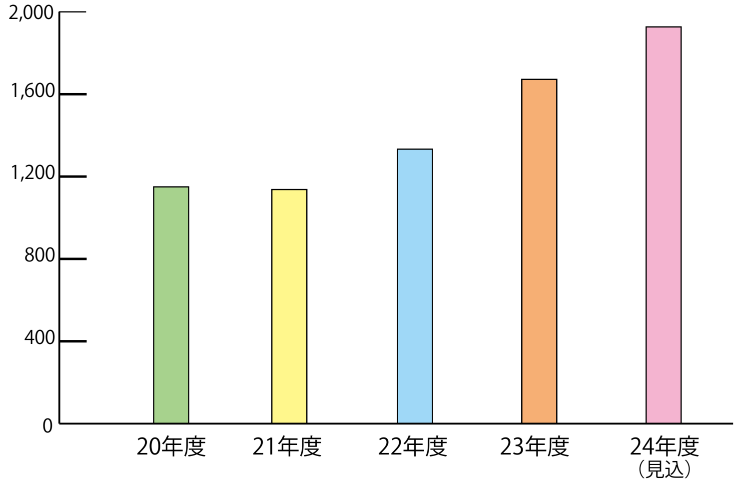


外来患者数

（人）

	合　計	月平均
20年度	132,411	11,037
21年度	135,719	11,310
22年度	135,957	11,330
23年度	125,720	10,477
24年度（見込）	118,496	9,874

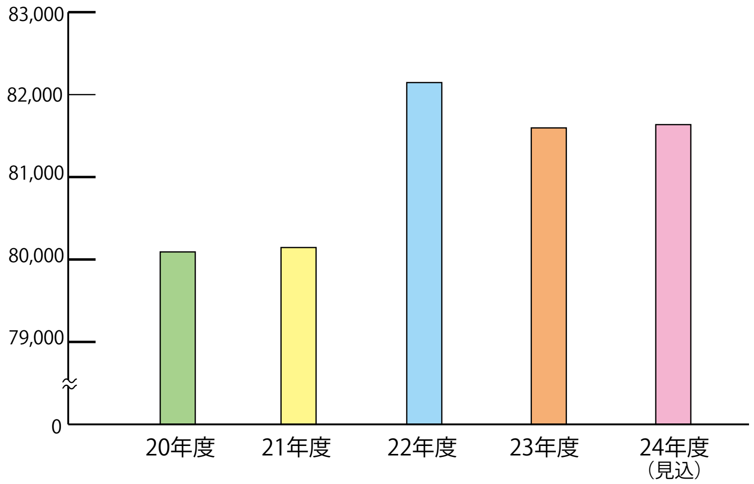
救急患者搬入数



（人）

	合　計	月平均
20年度	1,150	96
21年度	1,137	95
22年度	1,333	111
23年度	1,672	139
24年度（見込）	1,997	166

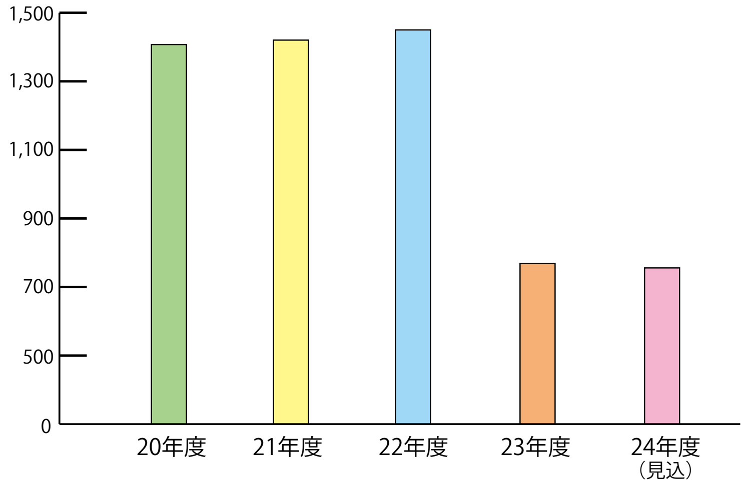
入院患者数



（人）

	合　計	月平均
20年度	80,159	6,680
21年度	80,548	6,712
22年度	82,263	6,855
23年度	81,603	6,800
24年度（見込）	81,669	6,806

手術件数



（件）

	合　計	月平均
20年度	1,393	116
21年度	1,397	116
22年度	1,433	119
23年度	766	64
24年度（見込）	743	62

編集後記（広報委員会）

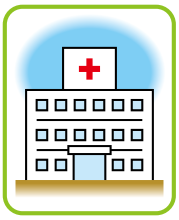
八潮中央総合病院の開院40周年を記念し、このほど院外広報紙「ふれあい」特集号を発行させていただきました。編集の過程で、開院当時に携わっていた皆様のご苦労や、40年間の歴史の中で増え続ける医療需要に対する皆様のご熱意を知ることができ、ここに改めて諸先輩のご尽力に敬意を表し感謝を申し上げます。

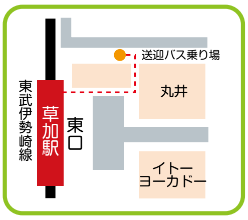
論語に「四十にして惑わず」という言葉がございます。この40周年を機に、当院の開院以来の理念である「地域から信頼される病院」を改めてしっかりと胸に刻み、今後さらなる発展を目指してスタッフ一同気持ちを新たにしているところでございます。特集号編集に際しまして、ご多用のところご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。結びに、当院を支えていただいている地域の皆様に心から感謝申し上げます。

八潮中央総合病院　送迎バスのご案内

平成22年2月24日 改定

1号車　草加駅行き





八潮中央総合病院

正面玄関よりワゴン車・マイクロバスが運行。

草加駅 東口

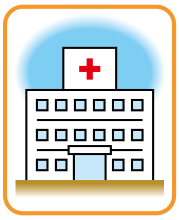
草加駅東口ロータリーから丸井とサンマルクカフェの間の通路を抜けたあたり。サンキ前。

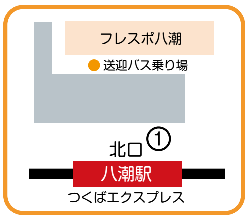
八潮中央総合病院			草加駅 東口	
7：40	発	⟷	8：00	発
9：30	発	⟷	9：45	発
10：30	発	⟷	10：45	発
11：30	発	⟷	11：45	発
12：30	発	⟷	12：45	発
13：30	発	⟷	13：45	発
15：30	発	⟷	15：45	発
16：30	発	⟷	16：45	発
17：40	発	⟷	17：55	発
18：30	発	⟷	18：45	発
19：15	発	⟶	－	－

□ 土曜日運休

（土） 土曜日のみ運行

2号車　八潮駅行き





八潮中央総合病院

正面玄関よりワゴン車・マイクロバスが運行。

八潮駅 北口

フレスポ八潮サンマルクカフェ前あたりに停車。

八潮中央総合病院			八潮駅 北口	
7：45	発	⟷	8：00	発
8：25	発	⟷	8：40	発
9：00	発	⟷	9：15	発
9：30	発	⟷	9：45	発
10：00	発	⟷	10：15	発
10：30	発	⟷	10：45	発
11：00	発	⟷	11：15	発
12：15（土）	発	⟷	12：30（土）	発
12：45（土）	発	⟷	13：00（土）	発
13：15（土）	発	⟷	13：30（土）	発
14：30	発	⟷	14：45	発
16：00	発	⟷	16：15	発
16：30	発	⟷	16：45	発
17：15	発	⟷	17：30	発
17：45	発	⟷	18：00	発
18：15	発	⟷	18：30	発
18：45	発	⟷	19：00	発
19：30	発	⟶	－	－

病院理念　……「地域から信頼される病院」

基本方針　……私たちは、以下の基本方針を遵守し、信頼される病院を目指します。

1. 安心・安全な医療の提供
2. 紹介患者・救急患者の積極的な受入れ
3. 総合病院としての機能と充実
4. 教育研修の向上と研鑽
5. 患者さまの人格を尊重した医療

患者さまの権利　……私たちは、以下の権利を尊重します。

1. 適切な医療を受ける権利
2. 人権とプライバシーが保護される権利
3. 医療情報の説明を受ける権利
4. 医療行為を選択する権利
5. 診療録の開示を求める権利
6. 他の医師に意見を求める権利（セカンドオピニオン）

アクセス

上尾中央医科グループ
医療法人　社団協友会
八潮中央総合病院
日本医療機能評価機構認定
〒340-0808 埼玉県八潮市緑町1-41-3
TEL.048-996-1131 FAX.048-997-2135
http://www.yashio-central-hospital.jp